



2021年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年4月26日

上場会社名 バリューコマース株式会社 上場取引所 東
 コード番号 2491 URL <https://www.valuecommerce.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 最高経営責任者 (氏名) 香川 仁
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 最高財務責任者 (氏名) 遠藤 雅知 TEL 03-6438-6860
 四半期報告書提出予定日 2021年5月13日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 有
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年12月期第1四半期の連結業績（2021年1月1日～2021年3月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年12月期第1四半期	8,089	5.6	1,799	19.4	1,838	22.3	△876	-
2020年12月期第1四半期	7,661	21.6	1,507	21.3	1,503	21.0	1,013	21.2

(注) 包括利益 2021年12月期第1四半期 △912百万円 (-%) 2020年12月期第1四半期 1,073百万円 (31.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年12月期第1四半期	△27.14	-
2020年12月期第1四半期	31.39	31.36

(注) 2020年12月期第2四半期連結会計期間において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、2020年12月期第1四半期に係る各数値については、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年12月期第1四半期	19,540	12,955	66.3	400.87
2020年12月期	22,474	14,676	65.3	454.13

(参考) 自己資本 2021年12月期第1四半期 12,950百万円 2020年12月期 14,670百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年12月期	-	16.00	-	25.00	41.00
2021年12月期	-	-	-	-	-
2021年12月期（予想）	-	17.00	-	26.00	43.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 2021年12月期の連結業績予想（2021年1月1日～2021年12月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	15,300	5.3	3,300	10.6	3,400	12.0	100	△95.1	3.10
通期	32,700	12.1	7,400	19.0	7,500	19.6	3,000	△29.7	92.86

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年12月期 1 Q	34,471,000株	2020年12月期	34,471,000株
② 期末自己株式数	2021年12月期 1 Q	2,165,655株	2020年12月期	2,165,655株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年12月期 1 Q	32,305,345株	2020年12月期 1 Q	32,300,689株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、[添付資料] P. 3 「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算補足説明資料の入手方法について）

四半期決算補足説明資料は、当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	6
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国の経済は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響が続き、緊急事態宣言が再発令され、依然として厳しい状況にありました。今後については、徐々に景気を持ち直しが期待されているものの、感染症の収束が見通せないなか、いまなお先行きは不透明な状況が続いております。

こうした環境の下、当社グループは、顧客であるコマース事業者のパフォーマンス（流通総額）を最大化するため、効果的なマーケティングソリューションを提供することに注力した結果、連結経営成績は次のとおりとなりました。

当第1四半期連結累計期間の売上高は、成果報酬型広告「アフィリエイト」について、回復の兆しが徐々に見え始めているものの、就職分野及び旅行等の外出を伴う分野が低調に推移し、前年同四半期比で減収となりました。

一方、オンラインモールのストア向けサービスについて、EC需要の増加及びオンラインモールが実施した大型キャンペーンへの対応が奏功したことにより、前年同四半期比で増収となりました。

その結果、8,089,731千円（前年同四半期比5.6%増）となりました。

販売費及び一般管理費は、5月に予定している本社移転に伴う一時的な費用を計上したことにより、1,399,529千円（前年同四半期比6.2%増）となりました。

営業利益は、売上高の推移により、1,799,852千円（前年同四半期比19.4%増）となりました。

経常利益は、営業外収益に投資事業組合運用益34,453千円を計上したこと等により、1,838,598千円（前年同四半期比22.3%増）となりました。

親会社株主に帰属する四半期純損失は、876,816千円（前年同四半期は1,013,894千円の利益）となりました。これは、当社が、2019年9月に全株式を取得し、連結子会社化したダイナテック株式会社（宿泊施設向けに情報システムを開発・提供）について、新型コロナウイルス感染症流行の長期化により、同社のWeb事業（宿泊予約システム）の将来の収益見込みを見直したことに伴い減損損失2,406,218千円を特別損失に計上したこと及び法人税等309,195千円を計上したこと等によるものであります。

セグメントの経営成績は次のとおりであります。

当第1四半期連結会計期間より、組織の名称変更に伴い、従来「マーケティングソリューション事業」「ECソリューション事業」としていた報告セグメントの名称を、「マーケティングソリューションズ事業」「ECソリューションズ事業」に変更しております。当該変更は報告セグメントの名称変更のみであり、セグメント情報に与える影響はありません。

① マーケティングソリューションズ事業

マーケティングソリューションズ事業は、コマース事業者のECサイトへの「集客」を軸とするソリューションを提供する事業です。主要なサービスは、成果報酬型広告「アフィリエイト」です。

当第1四半期連結累計期間におきましては、「アフィリエイト」について、回復の兆しが徐々に見え始めているものの、就職分野及び旅行等の外出を伴う分野が低調に推移し、前年同四半期比で減収となりました。この結果、セグメント売上高は3,962,761千円（前年同四半期比13.8%減）、セグメント利益は763,891千円（前年同四半期比7.5%減）となりました。

② ECソリューションズ事業

ECソリューションズ事業は、コマース事業者のECサイト上での「販売促進」を軸とするソリューションを提供する事業です。主要なサービスは、オンラインモールのストア向けCRMツール「STORE's Room（ストアーズ・アールエイト）」及びクリック課金型広告「ストアマッチ」です。そのほか、ECサイト運営支援「B-Space」及び連結子会社であるダイナテック株式会社（宿泊施設向けに情報システムを開発・提供）を含みます。

当第1四半期連結累計期間におきましては、オンラインモールのストア向けサービスについては、EC需要の増加及びオンラインモールが実施した大型キャンペーンへの対応が奏功したことにより、前年同四半期比で増収となりました。この結果、セグメント売上高は4,126,969千円（前年同四半期比34.6%増）、セグメント利益は1,481,717千円（前年同四半期比47.9%増）となりました。

また、宿泊施設を顧客とするダイナテック株式会社について、新型コロナウイルス感染症流行の長期化により、同社のWeb事業（宿泊予約システム）の将来の収益見込みを見直したことに伴い減損損失2,406,218千円を特別損失に計上しました。

(2) 財政状態に関する説明

1. 資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は19,540,176千円となり、前連結会計年度末と比べて2,934,400千円減少いたしました。

流動資産は17,352,200千円となり、前連結会計年度末と比べて310,048千円減少いたしました。これは、主にその他流動資産が51,357千円増加したものの、現金及び預金が364,769千円減少したことによるものです。

固定資産は2,187,975千円となり、前連結会計年度末と比べて2,624,351千円減少いたしました。これは、主にソフトウェアが1,351,908千円、のれんが503,652千円、顧客関連資産が685,099千円減少したことによるものです。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末の負債合計は6,584,653千円となり、前連結会計年度末と比べて1,213,777千円減少いたしました。

流動負債は6,563,537千円となり、前連結会計年度末と比べて1,021,871千円減少いたしました。これは、主に未払法人税等が848,689千円減少したことによるものです。

固定負債は21,116千円となり、前連結会計年度末と比べて191,906千円減少いたしました。これは、主に繰延税金負債が189,888千円減少したことによるものです。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末の純資産合計は12,955,522千円となり、前連結会計年度末と比べて1,720,622千円減少いたしました。これは、主に利益剰余金が剰余金の配当により807,633千円、親会社株主に帰属する四半期純損失の計上により876,816千円減少したことによるものです。

なお、2019年9月27日に行われたダイナテック株式会社との企業結合及び2020年1月24日に行なわれた株式会社B-SLASHとの企業結合について、第24期連結会計年度及び前第1四半期連結会計期間において暫定的な会計処理を行っておりましたが、前第2四半期連結会計期間に確定したため、前連結会計年度との比較・分析にあたっては、暫定的な会計処理の確定による見直し後の金額を用いています。

2. キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は11,057,328千円となり、前連結会計年度末と比べて364,769千円減少いたしました。

当第1四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は518,515千円（前年同四半期は803,551千円の獲得）となりました。これは、主に税金等調整前四半期純損失が567,620千円であり、プラス要因として、減価償却費が349,742千円、のれん償却額が45,713千円、減損損失が2,406,218千円であったものの、マイナス要因として、未払金の減少額が417,204千円、法人税等の支払額が1,407,203千円であったことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は78,314千円（前年同四半期は707,431千円の使用）となりました。これは、無形固定資産の取得による支出が78,314千円であったことによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は804,970千円（前年同四半期は608,058千円の使用）となりました。これは、主に配当金の支払額が802,851千円であったことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年4月26日において、2021年12月期の連結業績予想を修正しております。詳細につきましては、同日公表の「特別損失の計上及び業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,422,098	11,057,328
受取手形及び売掛金	4,420,490	4,452,318
未収入金	1,407,551	1,378,580
差入保証金	310,553	310,553
その他	105,379	156,736
貸倒引当金	△3,823	△3,316
流動資産合計	17,662,249	17,352,200
固定資産		
有形固定資産		
建物附属設備（純額）	147,404	37,367
工具、器具及び備品（純額）	93,652	77,527
リース資産（純額）	26,501	24,643
有形固定資産合計	267,558	139,537
無形固定資産		
ソフトウェア	2,095,436	743,527
ソフトウェア仮勘定	94,369	48,717
のれん	698,709	195,056
顧客関連資産	937,849	252,749
その他	10,247	9,976
無形固定資産合計	3,836,613	1,250,029
投資その他の資産		
投資有価証券	583,540	565,856
差入保証金	9,058	—
繰延税金資産	96,589	207,383
その他	20,810	26,810
貸倒引当金	△1,844	△1,642
投資その他の資産合計	708,155	798,408
固定資産合計	4,812,327	2,187,975
資産合計	22,474,577	19,540,176

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,749,500	2,709,581
未払金	2,458,381	2,053,992
未払法人税等	1,479,814	631,125
賞与引当金	28,488	132,799
その他	869,224	1,036,039
流動負債合計	7,585,409	6,563,537
固定負債		
繰延税金負債	189,888	—
その他	23,133	21,116
固定負債合計	213,022	21,116
負債合計	7,798,431	6,584,653
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,728,266	1,728,266
資本剰余金	1,164,876	1,164,876
利益剰余金	12,113,969	10,429,519
自己株式	△529,095	△529,095
株主資本合計	14,478,017	12,793,567
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	192,851	156,678
その他の包括利益累計額合計	192,851	156,678
新株予約権	5,276	5,276
純資産合計	14,676,145	12,955,522
負債純資産合計	22,474,577	19,540,176

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書
(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年3月31日)
売上高	7,661,466	8,089,731
売上原価	4,836,322	4,890,349
売上総利益	2,825,143	3,199,382
販売費及び一般管理費	1,317,680	1,399,529
営業利益	1,507,462	1,799,852
営業外収益		
アフィリエイト報酬精算益	4,162	461
投資事業組合運用益	—	34,453
貸倒引当金戻入額	75	—
その他	1,594	6,171
営業外収益合計	5,833	41,086
営業外費用		
投資事業組合運用損	9,385	—
為替差損	174	675
その他	144	1,664
営業外費用合計	9,704	2,339
経常利益	1,503,591	1,838,598
特別利益		
子会社清算益	4,767	—
特別利益合計	4,767	—
特別損失		
減損損失	—	2,406,218
システム障害対応費用	3,470	—
特別損失合計	3,470	2,406,218
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	1,504,889	△567,620
法人税、住民税及び事業税	543,658	593,913
法人税等調整額	△52,662	△284,717
法人税等合計	490,995	309,195
四半期純利益又は四半期純損失(△) (内訳)	1,013,894	△876,816
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	1,013,894	△876,816
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	59,612	△36,173
その他の包括利益合計	59,612	△36,173
四半期包括利益 (内訳)	1,073,506	△912,989
親会社株主に係る四半期包括利益	1,073,506	△912,989
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	1,504,889	△567,620
減価償却費	166,305	349,742
のれん償却額	73,800	45,713
貸倒引当金の増減額(△は減少)	2,166	△708
子会社清算損益(△は益)	△4,767	—
受取利息	△47	△177
支払利息	103	—
投資事業組合運用損益(△は益)	9,385	△34,453
減損損失	—	2,406,218
システム障害対応費用	3,470	—
売上債権の増減額(△は増加)	206,619	△31,828
仕入債務の増減額(△は減少)	107,258	△39,919
未収入金の増減額(△は増加)	52,931	28,971
未払金の増減額(△は減少)	△482,138	△417,204
その他	168,742	186,806
小計	1,808,718	1,925,540
利息の受取額	47	177
利息の支払額	△103	—
法人税等の支払額	△1,005,111	△1,407,203
営業活動によるキャッシュ・フロー	803,551	518,515
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△37,909	—
無形固定資産の取得による支出	△206,621	△78,314
投資有価証券の取得による支出	△33,381	—
子会社の清算による収入	14,767	—
投資事業組合からの分配による収入	92,776	—
差入保証金の差入による支出	△32	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△537,032	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△707,431	△78,314
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の処分による収入	463	—
自己株式の取得による支出	△104	—
配当金の支払額	△607,925	△802,851
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△491	△2,119
財務活動によるキャッシュ・フロー	△608,058	△804,970
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△511,938	△364,769
現金及び現金同等物の期首残高	7,862,912	11,422,098
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,350,973	11,057,328

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I. 前第1四半期連結累計期間(自2020年1月1日至2020年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 及び包括利益計 算書計上額 (注) 2
	マーケティング ソリューションズ事業	ECソリューションズ事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	4,595,401	3,066,065	7,661,466	—	7,661,466
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	4,595,401	3,066,065	7,661,466	—	7,661,466
セグメント利益	826,214	1,001,881	1,828,096	△320,633	1,507,462

(注) 1. セグメント利益の調整額△320,633千円は、各報告セグメントに帰属しない全社費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

当第1四半期連結会計期間において、株式会社B-SLASHを連結の範囲に含めたことにより、前連結会計年度の末日に比べ、当第1四半期連結会計期間の報告セグメントの資産の金額は、「ECソリューションズ事業」において、1,106,742千円増加しております。

なお、当該セグメント資産の金額は、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定による取得原価の当初配分額の重要な見直しが反映された後の金額により開示しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

当第1四半期連結会計期間において、株式会社B-SLASHを連結の範囲に含めたことにより、「ECソリューションズ事業」におけるのれんが260,075千円増加しております。

なお、当該のれんの金額は、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定による取得原価の当初配分額の重要な見直しが反映された後の金額により開示しております。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

II. 当第1四半期連結累計期間(自2021年1月1日至2021年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 及び包括利益計 算書計上額 (注) 2
	マーケティング ソリューションズ事業	ECソリューションズ事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,962,761	4,126,969	8,089,731	—	8,089,731
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	3,962,761	4,126,969	8,089,731	—	8,089,731
セグメント利益	763,891	1,481,717	2,245,609	△445,757	1,799,852

- (注) 1. セグメント利益の調整額△445,757千円は、各報告セグメントに帰属しない全社費用であります。
 2. セグメント利益は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。
 3. 前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は、ダイナテック株式会社及び株式会社B-SLASHについて、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定による取得原価の当初配分額の重要な見直しが反映された後の金額により開示しております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第1四半期連結会計期間より、組織の名称変更に伴い、従来「マーケティングソリューション事業」「ECソリューション事業」としていた報告セグメントの名称を、「マーケティングソリューションズ事業」「ECソリューションズ事業」に変更しております。当該変更は報告セグメントの名称変更のみであり、セグメント情報に与える影響はありません。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後のセグメントの名称に基づき作成したものを開示しております。

3. 報告セグメントごとの資産に関する情報

当第1四半期連結会計期間において、ダイナテック株式会社の将来の収益見込みを見直したことにより、「ECソリューションズ事業」において減損損失を認識し、前連結会計年度の末日に比べ、当第1四半期連結会計期間の報告セグメントの資産の金額は、「ECソリューションズ事業」において、2,307,511千円減少しております。

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

当第1四半期連結会計期間において、ダイナテック株式会社の将来の収益見込みを見直したことにより、「ECソリューションズ事業」において減損損失を認識し、当該資産グループの帳簿価額を回収可能価額まで減額し、減損損失2,406,218千円を計上しております。

(のれんの金額の重要な変動)

当第1四半期連結会計期間において、ダイナテック株式会社の将来の収益見込みを見直したことにより、「ECソリューションズ事業」においてのれんの減損損失を計上したため、のれんの金額が減少しております。なお、当該事象によるのれんの減少額は、当第1四半期連結累計期間において457,939千円であります。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。